議　事　録　要　旨

会 議 名 称	令和８年度第２回加古川市総合計画審議会（総括部会）
開 催 日 時	令和８年 10 月 14 日（水）午前１０時から午前１０時３０分まで
開 催 場 所	加古川市役所新館９階　ミーティングスペース
出　席　者	＜総合計画審議会委員＞ 会長　　岡本　立身 副会長　山本　亜也夫 第１部会部会長　　松田　信樹 第１部会副部会長　藤田　隆司 第２部会部会長　　安枝　英俊 第２部会副部会長　大辻　利紀 ＜加古川市＞ 企画部次長　　川上　昌幸 総務部次長　　依藤　康弘
会 議 次 第	１　開　会 ２　議　事 （１）前回までの意見の整理について （２）将来の目標人口について （３）答申（案）について （４）その他 ３　閉　会
配 付 資 料	１　次第 ２　部会における意見の整理（基本目標６） ３　将来の目標人口 ４　答申書（案） ５　総合計画原案（審議会後修正部分抜粋）
傍聴者の数	４人

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
	1　開　会 （委員の出席状況） 　総括部会委員６名全員が出席していることを報告 2　議　事 （１）前回までの意見の整理について 　　基本目標６　未来へつなぐまち
（事務局）	〈事務局説明〉
（委員）	（意見・質疑応答） 【オープンミーティングの対応について】 ・オープンミーティングで出された意見や要望について、市としてどのような考え方で優先順位をつけ、対応しているのか。高齢者や子育て世代など、立場によって重視することや要望の優先順位は異なる。特定の世代や立場の意見に偏って対応していると受け止められることのないよう、できる限り公平に対応するとともに、すべての要望に応えることが難しい中でも、対応の優先順位やその理由など、市の考え方を市民に丁寧に伝えていくことが大切だと思う。
（事務局）	・毎年度の予算編成において、市長が重点的に取り組む内容を発表しており、現在は「加古川ならではの魅力づくり」を最も重要なテーマとしている。一方で、子育て支援や高齢者支援など、行政が取り組む施策はいずれも重要であり、その時々のニーズや重要度を見極めながら対応している。
（委員）	【社会経済情勢の変化への対応について】 ・「社会情勢を踏まえた持続可能な財政運営」における「社会情勢」には、現在の状況だけでなく、今後、予期せぬ変化が生じた場合も含まれるのか。社会経済情勢が目まぐるしく変化する中、そうした変化にも対応していくという趣旨であるか確認したい。
（事務局）	・「社会情勢」には、今後生じる予期せぬ変化も含めている。例えば、経済対策については、市単独で実施できることには限りがあるが、国が臨時交付金を交付するなどの対策を講じた場合には、それを受けて、市の実情に応じた支援策を検討することができる。その時々の状況や国の動向を見極めながら、市として必要な対応を検討していく。
（委員）	【AI の活用について】 ・AI の活用に当たっては、リスク管理や危機管理対策を講じたうえで、業務の効率化を図っていただきたい。

（事務局）	・加古川市においても、庁内での AI 活用を進めているが、ご指摘のとおり、情報管理など注意すべき点も多いため、十分に留意しながら活用を進めている。 （２）将来の目標人口について
（事務局）	〈事務局説明〉
（委員）	（意見・質疑応答） 【人口減少への対応と住みやすいまちづくりについて】 ・人口減少に伴い、小・中学校の統廃合は避けられない可能性もあるが、義務教育であることを踏まえ、こどもたちが適切な教育を受けられる環境を確保していく必要があると思う。 ・地域幸福度の平均値が全国平均を上回っていることは評価できる。住みやすいまちづくりを推進することで、人口減少の抑制につなげ、市民にとってより良いまちとなるよう、現状を踏まえながら、今後も市と一体となって取り組んでいきたい。
（事務局）	・小・中学校の統廃合については、学校規模適正化に関する方針を定めており、児童・生徒数の状況や地域の声を大切にしながら検討していく。 （３）答申（案）について
（事務局）	〈事務局説明〉 （意見・質疑なし） （４）その他
（事務局）	〈事務局説明〉
（委員）	（意見・質疑） 【公共施設の複合化について】 ・資料４の９ページについて、人口減少に伴う税収の減少が見込まれる中、公共施設の維持管理に係る負担も踏まえると、今後は施設の複合化を進めていくことが重要になると考える。総合計画において、こうした取組を具体的に伝えるため、「かこてらす」や「両荘みらい学園」など、本市における公共施設の複合化の事例を紹介してはどうか。
（事務局）	・記載について検討する。 ３　閉会